

インデックスファンド海外債券（ヘッジあり）1年決算型 ＜愛称 DC インデックス海外債券（ヘッジあり）＞

追加型投信／海外／債券／インデックス型

交付運用報告書

第19期（決算日2020年10月26日）

作成対象期間（2019年10月29日～2020年10月26日）

| 第19期末（2020年10月26日） | |
|--------------------|---------|
| 基準価額 | 14,105円 |
| 純資産総額 | 931百万円 |
| 第19期 | |
| 騰落率 | 3.8% |
| 分配金（税込み）合計 | 10円 |

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「インデックスファンド海外債券（ヘッジあり）1年決算型」は、2020年10月26日に第19期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、世界各国の債券に実質的な投資を行ない、「FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）」の動きに連動する投資成果をめざして運用を行なっておりましました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<958450>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

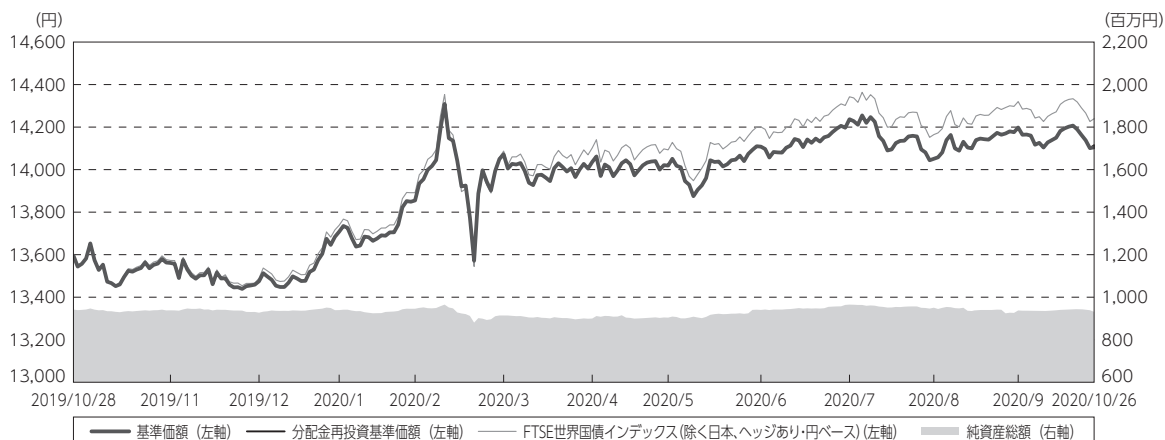
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2019年10月29日～2020年10月26日）



期首：13,596円

期末：14,105円（既払分配金（税込み）：10円）

騰落率： 3.8%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびFTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）は、期首（2019年10月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主に、「海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。実質外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・世界の主要中央銀行が政策金利の引き下げなど金融緩和姿勢を強めたこと。
- ・米国とイランとの間の対立による中東情勢の緊迫化や新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済の停滞懸念などを背景に、投資家がリスク回避姿勢を強めたこと。
- ・国際通貨基金（IMF）が世界の経済成長率見通しを下方修正したこと。

<値下がり要因>

- ・米中両政府が部分的な通商合意に至り、世界経済の先行き不透明感が後退したこと。
- ・スウェーデンの中央銀行によるマイナス金利の解除を受けて欧州中央銀行（ECB）による追加利下げ期待が後退したこと。
- ・欧米における新型コロナウイルスの感染対策のための各種規制を緩和する動きから経済活動の再開期待が高まったこと。

1万口当たりの費用明細

（2019年10月29日～2020年10月26日）

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|--------|-----------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 102 | 0.733 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| （ 投 信 会 社 ） | （ 33 ） | （ 0.241 ） | 委託した資金の運用の対価 |
| （ 販 売 会 社 ） | （ 61 ） | （ 0.438 ） | 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 |
| （ 受 託 会 社 ） | （ 8 ） | （ 0.055 ） | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) そ の 他 費 用 | 3 | 0.019 | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （ 保 管 費 用 ） | （ 2 ） | （ 0.015 ） | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （ 監 査 費 用 ） | （ 1 ） | （ 0.004 ） | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （ そ の 他 ） | （ 0 ） | （ 0.000 ） | その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 105 | 0.752 | |
| 期中の平均基準価額は、13,908円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

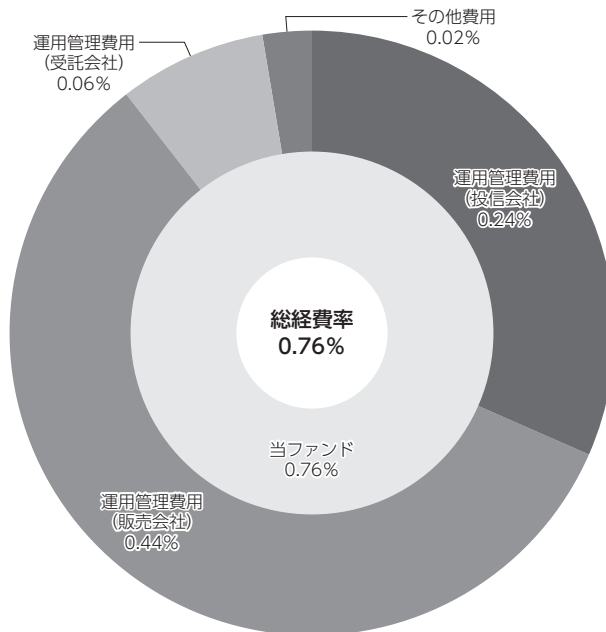
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.76%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年10月26日～2020年10月26日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額およびFTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）は、2015年10月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

| | 2015年10月26日 決算日 | 2016年10月26日 決算日 | 2017年10月26日 決算日 | 2018年10月26日 決算日 | 2019年10月28日 決算日 | 2020年10月26日 決算日 |
|--|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 基準価額 (円) | 13,101 | 13,464 | 13,001 | 12,678 | 13,596 | 14,105 |
| 期間分配金合計(税込み) (円) | — | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | 2.8 | △ 3.4 | △ 2.4 | 7.3 | 3.8 |
| FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジあり・円ベース)騰落率 (%) | — | 3.7 | △ 2.7 | △ 1.6 | 8.3 | 4.7 |
| 純資産総額 (百万円) | 1,578 | 1,018 | 745 | 755 | 942 | 931 |

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）は当ファンドのベンチマークです。

投資環境

(2019年10月29日～2020年10月26日)

(海外債券市況)

海外債券市場では、米国、ドイツ、英国など、各国の10年国債利回りは、期間の初めと比べて総じて低下（債券価格は上昇）しました。

期間の初めから2019年12月下旬にかけては、米中両政府が部分的な通商合意に至り世界経済の先行き不透明感が後退したことや、ドイツの企業景況感指数が市場予想を上回ったこと、スウェーデンの中央銀行によるマイナス金利の解除を受けてECBによる追加利下げ期待が後退したことなどから、各国の10年国債利回りは総じて上昇（債券価格は下落）しました。2020年1月から期間末にかけては、欧米における新型コロナウイルスの感染対策のための各種規制を緩和する動きから経済活動の再開期待が高まったことや、欧米主要国による経済対策のための財政拡大が示されたこと、米国議会下院議長の発言などを受けて米国の追加景気対策合意への期待が高まったことなどが利回りの上昇要因となったものの、世界の主要中央銀行が政策金利の引き下げなど金融緩和姿勢を強めたことや、米国とイランとの間の対立による中東情勢の緊迫化、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済の停滞懸念、香港情勢などを巡る米中対立の激化などを背景に投資家がリスク回避姿勢を強めたこと、ユーロ圏の鉱工業生産やドイツの国内総生産（GDP）成長率などが市場予想を下回ったこと、IMFが世界の経済成長率見通しを下方修正したことなどから、各国の10年国債利回りは総じて低下しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年10月29日～2020年10月26日)

(当ファンド)

当ファンドは、「海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド)

債券のリスクコントロールモデルによりベンチマーク採用国の債券の中からポートフォリオを構築し、運用を行ないました。また、ベンチマーク採用銘柄の入替などに対応するために、随時ポートフォリオの見直しを行ない、債券の組入比率を高位に維持し、ベンチマークとの連動性を保つように努めました。外貨建資産は、原則として100%程度の為替ヘッジを行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年10月29日～2020年10月26日)

期間中における基準価額は、3.8%（分配金再投資ベース）の値上がりとなり、ベンチマークである「FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）」の上昇率4.7%を概ね0.9%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

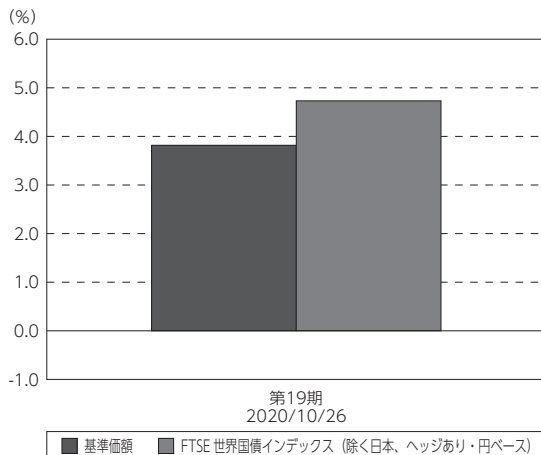
<プラス要因>

- ・ 国別配分効果。

<マイナス要因>

- ・ 銘柄選択要因。
- ・ 債券および為替取引に関する諸費用。
- ・ 外国口座の管理費用。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）は当ファンドのベンチマークです。

分配金

(2019年10月29日～2020年10月26日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

| 項 目 | 第19期 |
|-----------|-----------------------------|
| | 2019年10月29日～ 2020年10月26日 |
| 当期分配金 | 10 |
| (対基準価額比率) | 0.071% |
| 当期の収益 | 10 |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 5,948 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド）

引き続き、これまでの運用方針を維持します。原則として債券のリスクコントロールモデルを利用してポートフォリオを構築し、ポートフォリオの金利感応度などの属性をベンチマークと同程度に保ち、連動性を高めるように努めます。また、ベンチマーク採用銘柄の入替などに対応するために、毎月ポートフォリオの見直しなどを行なうとともに、債券組入比率を高位に維持する方針です。外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

お知らせ

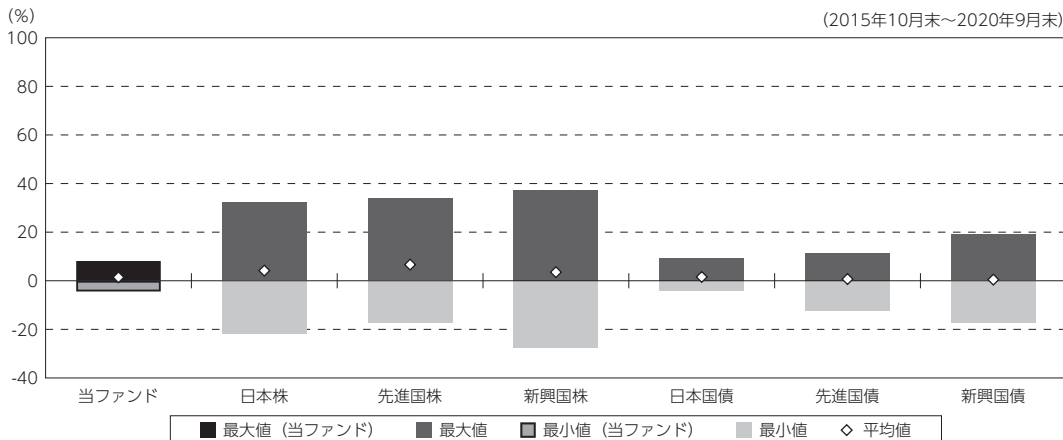
2019年10月29日から2020年10月26日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

| | | |
|--------|--|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券／インデックス型 | |
| 信託期間 | 2001年10月17日から原則無期限です。 | |
| 運用方針 | 主として「海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド」受益証券に投資を行ない、「FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。 | |
| 主要投資対象 | インデックスファンド海外債券（ヘッジあり）1年決算型 | 「海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。 |
| | 海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド | 内外の公社債を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 主として、世界各国の債券に実質的な投資を行ない、「FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）」の動きに連動する投資成果をめざします。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないます。 | |
| 分配方針 | 毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 | |

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|-------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 最大値 | 8.1 | 32.2 | 34.1 | 37.2 | 9.3 | 11.4 | 19.3 |
| 最小値 | △ 4.4 | △ 22.0 | △ 17.5 | △ 27.4 | △ 4.0 | △ 12.3 | △ 17.4 |
| 平均値 | 1.4 | 4.2 | 6.6 | 3.5 | 1.6 | 0.7 | 0.5 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年10月から2020年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのベンチマークについて

●FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2020年10月26日現在)

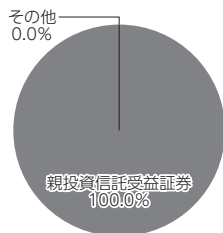
○組入上位ファンド

| 銘柄名 | 第19期末 |
|--------------------------|--------|
| 海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド | 100.0% |
| 組入銘柄数 | 1銘柄 |

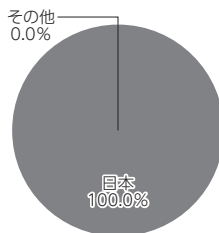
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

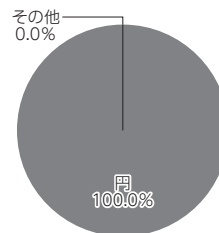
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

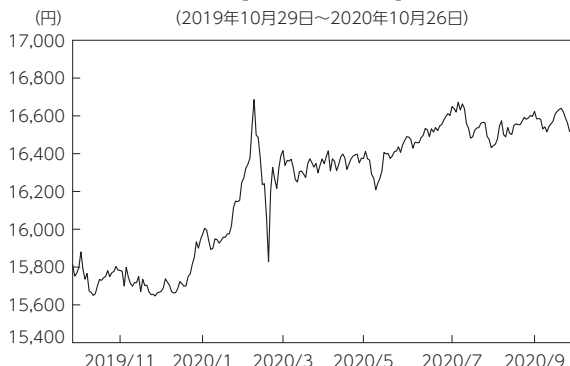
| 項目 | 第19期末 |
|------------|--------------|
| | 2020年10月26日 |
| 純資産総額 | 931,207,561円 |
| 受益権総口数 | 660,194,101口 |
| 1万口当たり基準価額 | 14,105円 |

(注) 期中における追加設定元本額は198,123,016円、同解約元本額は230,812,420円です。

組入上位ファンドの概要

海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2019年10月29日～2020年10月26日)

| 項 目 | 当 期 | |
|---------------|-----|---------|
| | 金 額 | 比 率 |
| (a) そ の 他 費 用 | 2 | 0.015 |
| (保 管 費 用) | (2) | (0.015) |
| (そ の 他) | (0) | (0.000) |
| 合 計 | 2 | 0.015 |

期中の平均基準価額は、16,231円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2020年10月26日現在)

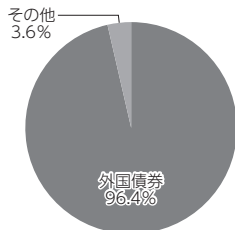
| 銘 柄 名 | 業 種 / 種 別 等 | 通 貨 | 国 (地 域) | 比 率 |
|-------------------------------------|-------------|--------|-----------|-----|
| 1 US TREASURY N/B 2.25% 2024/11/15 | 国債証券 | アメリカドル | アメリカ | 1.9 |
| 2 US TREASURY N/B 2.375% 2024/8/15 | 国債証券 | アメリカドル | アメリカ | 1.9 |
| 3 US TREASURY N/B 2% 2026/11/15 | 国債証券 | アメリカドル | アメリカ | 1.8 |
| 4 US TREASURY N/B 2.25% 2046/8/15 | 国債証券 | アメリカドル | アメリカ | 1.5 |
| 5 FRANCE (GOVT OF) 5.75% 2032/10/25 | 国債証券 | ユーロ | フランス | 1.5 |
| 6 US TREASURY N/B 2.875% 2028/8/15 | 国債証券 | アメリカドル | アメリカ | 1.5 |
| 7 US TREASURY N/B 2.25% 2027/11/15 | 国債証券 | アメリカドル | アメリカ | 1.5 |
| 8 US TREASURY N/B 1.625% 2022/8/15 | 国債証券 | アメリカドル | アメリカ | 1.1 |
| 9 US TREASURY N/B 1.625% 2026/5/15 | 国債証券 | アメリカドル | アメリカ | 1.1 |
| 10 US TREASURY N/B 2% 2025/8/15 | 国債証券 | アメリカドル | アメリカ | 1.0 |
| 組入銘柄数 | | 302銘柄 | | |

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

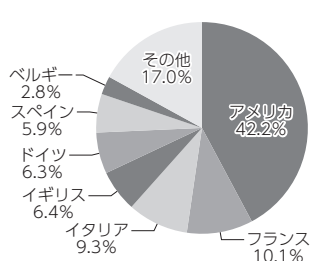
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

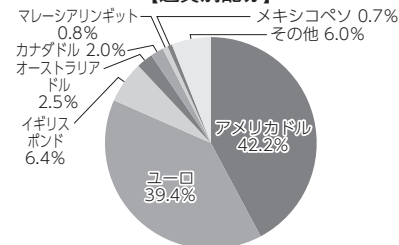
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。